

大学コンソーシアムひょうご神戸
2023年度 第5回 国際交流委員会
議事次第

日 時：2024年3月22日（金）持ち回り開催

委員校：兵庫県立大学（委員長校）、神戸市外国語大学（副委員長校）、明石工業高等専門学校
芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、
聖和短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸海星女子学院大学、
神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、
神戸女学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、
園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、
兵庫大学、兵庫大学短期大学部（計28校）

I. 審議事項

1. 「2023年度 国際交流委員会事業報告・決算（案）」について（資料1）

II. 連絡・調整事項

1. 2024年度の国際交流委員会開催予定と主な議題について

【第1部】 2024年度 第1回 国際交流委員会（対象：国際交流委員のみ）

<開催日時> 4月22日(月) 15:00～16:00

【第2部】 海外大学との留学生交流等についての情報交換・名刺交換会

（対象：大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校教職員）

<開催日時> 4月22日(月) 16:00～17:00

以上

<資料一覧>

2023年度 第5回国際交流委員会 次第

資料1-1：2023年度国際交流委員会 事業報告（案）

資料1-2：2023年度国際交流委員会 事業決算（案）

委員長校 : 兵庫県立大学

副委員長校: 神戸市外国語大学

委員校: 明石工業高等専門学校、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、
 関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、
 神戸学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、
 神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、園田学園女子大学、
 園田学園女子短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、芸術文化観光専門職大学
 計28校

<目的>

「国際都市神戸」を有する兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟する
 コンソーシアムとしてグローバル人材育成を目指した事業を展開する。

<内容>

1. 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業
2. 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業
 - ・学生海外派遣プログラム
 - ・模擬国連演習(JUEMUN)
 - ・事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム

<期待される効果>

1. 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業
 学生が主体的に学ぶことによる行動の変容、大学連携・産官学連携による留学生支援の新たな課題とニーズの取組
 促進、高度外国人材としての留学生の理解促進等の効果が期待される。
2. 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業
 各加盟校の強み・特徴を活かした国際交流プログラムを加盟校に開放することで、自学では得ることができない
 学びの経験とネットワークの構築の機会を学生に提供でき、加盟校の学生の学びが深まり、幅が広がること
 が期待される。
 また、加盟校が抱える国際交流の課題を加盟校間で共有し、解決に向けたプログラムを実施することで、加盟校
 全体の国際交流の課題解消、多文化共生社会で活躍する学生の育成に繋がる効果が期待される。

課題⑤ 外国人留学生と日本人学生等の交流促進		予算額
【取組1】	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業	9,625,000円 * 受託事業収入
【取組2】	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業 ①学生海外派遣プログラム ②模擬国連演習(JUEMUN) ③事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放され た国際交流プログラム	50,000円

【2023年度 国際交流委員会 事業報告(⑤取組1)】(案)

【⑤取組1】達成目標	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上 (期間中2回測定)
【⑤取組1】活動指標	各年参加者数500名以上

課題⑤	外国人留学生と日本人学生等の交流促進
達成目標 【⑤取組1】	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上 (期間中2回測定)
課題を解決する 取組概要 【⑤取組1】	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施
活動指標 【⑤取組1】	各年参加者数500名以上

内容 (結果)	<p><兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業> 大学連携による国際交流の拠点を、大学キャンパス外の地域社会に形成することで留学生と日本人学生、地域の人々が学びあう多文化共生社会に向けた場を創造する。</p> <p>1. 外国人留学生の活用と相互理解・共生推進のための事業 ○学生組織構築活動TeamG-navi「ファシリテーション・プロジェクト演習」(※加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業) 【実施】5月～7月【対象】日本人学生・留学生(N2以上)・社会人【実績】合計7回131名 ○大学等との連携による協働事業(加盟校等の教学協働プログラム) 【連携予定】甲南女子大学【実施】9/26,10/17,11/21【定員】20～40名【対象】留学生・日本人学生【実績】合計3回84名</p> <p>2. 高度外国人材としての留学生向けキャリアサポート ○英語でのキャリアイベント 留学生向けのキャリアイベントを開催(共催 公益社団法人 関西経済連合会) 【実施】2023/7/27,2024/2/29【定員】30～50名【対象】留学生・日本人学生・キャリア支援者【実績】合計2回141名 ○キャリアカフェ「Nada Global Village (NGV)」 日本で学ぶ外国人留学生と日本人学生が将来のキャリア形成、自国の文化やアイデンティティ、研究分野など関心がある課題をテーマに、それぞれの価値観・人生観を率直に語り合う場を定期開催 (※7/8,10/14は、加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業) 【実施】2023年4月～2024年2月【定員】各20名【対象】留学生、日本人学生、社会人【実績】合計11回開催 916名 【国際理解が深まった】90.5%</p> <p>3. 防災教育「防災セミナー」 兵庫国際交流会館の地域的特性を生かし、防災減災に備えるセミナー 【実施】6/25,9/12【定員】30～50名【対象】留学生、日本人学生、社会人【実績】合計2回開催 96名</p> <p>4. 地域連携プログラム「英語村」 大学生が企画し、中高生等を対象に英語を通じたコミュニケーションの楽しさや学びを提供。 【実施】2023年7～8月,12月【定員】各20名【対象】留学生・日本人学生・地域の小中高生など【実績】合計5回開催520名 【国際理解が深まった】100%</p> <p>5. 留学生・国際交流情報の発信事業・支援者間ネットワークの体制整備 大学連携の特徴を活かした情報発信事業を行い、加盟校・関係団体と支援者間ネットワークを構築。 関係者会議【実績】5機関35名</p> <p>6. 学生スタッフイベント企画会議参加者(計10回・延べ人数) 【実績】77名 ※新型コロナウイルス感染症状況により、実施方法(オンライン・リアル・ハイブリッド)・プログラム内容の変更有</p> <p>【累計参加者数】2000名</p>
------------	---

新しい試み等 (事業計画に記載)									
事業収支	<table border="1"> <tr> <td>収入</td> <td>支出</td> <td>収支</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>9,625,000</td> <td>9,625,000</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	収入	支出	収支	備考	9,625,000	9,625,000		
収入	支出	収支	備考						
9,625,000	9,625,000								

自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
【第3回委員会 メール審議時内容】	<p>・日本学生支援機構(JASSO)受託事業の5年目、参加者層の国籍、年齢層、カテゴリーを拡大、ダイバーシティ&インクルージョンの環境での国際交流の拠点を、大学キャンパス外の地域社会に形成できた。</p> <p>・地域の国際交流機関や兵庫県との連携も深め、学生を中心とした地域の国際交流、留学生支援機関としての基盤を築いた。</p>			

<p>■自己評価基準 (対到達目標)</p> <p>4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った</p>	<p>■自己評価基準 (対継続性)</p> <p>4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき</p>
---	--

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	日本学生支援機構(JASSO)受託事業の5年目、兵庫国際交流会館を学生を中心とした地域の国際交流・留学生支援拠点を築くことはできている。引き続き、日本学生支援機構(JASSO)受託事業の採択を目指し、築いた拠点でコンソの特徴を活かし、時代の潮流を鑑みた、留学生、学生の成長支援、兵庫県の発展に繋がる事業展開を期待する。また、これまで当事業内でD&I時代の表現力の養成の一環で広報活動を行ってきた企画学生スタッフに、更なる学びのアウトプットの場として、当コンソ全体の広報活動を提供し、より多くの学生、留学生の波及効果を及ぼす表現力・企画力を身に付ける場とすることも期待する。
--------------------------------	--

【2023年度 国際交流委員会 事業報告(⑤取組2)】(案)

【⑤取組2】達成目標	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上 (期間中2回測定)
【⑤取組2】活動指標	プログラム数10件以上

課題⑤	外国人留学生と日本人学生等の交流促進
達成目標【⑤取組2】	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上 (期間中2回測定)
課題を解決する取組概要【⑤取組2】	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進 ①学生海外派遣プログラム ②模擬国連演習(JUEMUN) ③事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム
活動指標【⑤取組2】	プログラム数10件以上

内容 (結果)	<p>①学生海外派遣プログラム 先端医療技術を用いて高度な医療を提供しているにも関わらず高額医療費故に十分な医療を受けられない人もいる「アメリカ」日本とは、文化的、社会的にも全く異なる国を訪問し自らの目で見て体で感じ、帰国後報告会とディスカッションを通して、医療に対する国際感覚を高めることができるプログラム。 【開催】2023年9月8日(金)～9月18日(月) 国際保健医療活動Ⅱ アメリカコースボストン研修 サンフランシスコならびにボストンにて病院、小児病院、研究室、臨床検査関連グローバル企業等へ訪問 【主催大学】神戸常盤大学 【実績】3名</p> <p>②模擬国連演習(JUEMUN) 国際問題への理解を深めるとともに、交渉力や議論の能力、語学力を含む総合的な国際コミュニケーション能力を高めることを目的とした教育活動プログラム 【開催時期】4月～7月 【主催大学】神戸市外国語大学 【留意事項】選考あり ※英語レベル: TOEIC 750以上, IELTS 5.5以上, TOEFL 76以上, 英検2級以上 【参加費用】5,000円 【実績】29名 主催大学以外のコンソ単位互換協定校の参加学生は無かったが、国際交流委員会より、3大学4名の教職員が開会式に参加した。</p> <p>③各加盟校の強み・特徴を活かした国際交流プログラムの加盟校への開放で、以下の効果が期待されるプログラム ○自学では得ることができない学びの経験とネットワークの構築の機会を学生に提供でき、加盟校の学生の学びが深まり、幅が広がることが期待されるプログラム ○加盟校が抱える国際交流の課題を加盟校間で共有し、解決に向けたプログラムを実施することで、加盟校全体の国際交流の課題解消、多文化共生社会で活躍する学生の育成に繋がる効果が期待されるプログラム —実施内容(2023.10月末現在)—</p> <p>③-1 剣道体験から知る 面白い! 日本文化! 日本文化体験を通して、留学生と日本人学生や留学生間の交流を促進するプログラム。 【主催大学】甲南女子大学 【開催】7月8日(土) 【実績】95名 【国際理解が深まった】96.3%</p> <p>③-2 インターナショナルバスツアー 豊岡、加古川 留学生と日本人学生と一緒に、文化・自然体験と企業訪問することで交流や異文化理解を深め、また、ツアー内容を一緒に企画することで視点理解、多国籍な環境下での協働や企画立案の方法などを体験を通して学ぶバスツアー。城崎温泉、鶴林寺座禅、武道・茶道体験 【主催大学】兵庫大学 【開催】10月14日・15日 【実績】68名 【国際理解が深まった】97.1%</p> <p>③-3 ファシリテーション講座 国際社会で活躍できる人材を育成するため、ダイバーシティを活かし合える関係構築力、企画力、ファシリテーション技術力の向上を目的としたオンライン講座。 【主催大学】兵庫大学 【開催時期】6月8日～7月20日 【実績】合計7回131名 【多文化共生のファシリテーションの理解が深まった】100%</p> <p>【累計プログラム件数】 5件</p>
------------	---

新しい試み等 (事業計画に記載)	「自学では得ることができない学びの経験とネットワークの構築の機会を学生に提供」 「加盟校が抱える国際交流の課題を加盟校間で共有し、解決に向けたプログラムを実施」を目的に、各加盟校の強み・特徴を活かした国際交流プログラムの加盟校への開放を促進した。
---------------------	--

事業収支	収入	支出	収支	備考
	50,000	46,062	3,938	

自己評価 【第3回委員会 メール審議時内容】	【対到達目標】	3	【対継続性】	4
	自学の国際交流プログラムをコンソ加盟校へ開放することで、加盟校の国際交流プログラムの参加者の多様性を拡充した。自学以外の大学の学生、留学生との交流が少ない留学生に、他大学の学生、留学生との交流の機会を提供した。 イベント企画を通して多文化共生社会で活躍を期待できる人材の育成に貢献した。			

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4: 当初計画を上回って達成
- 3: 当初計画を達成
- 2: 当初計画をやや下回った
- 1: 当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4: 本プログラムは継続すべき
- 3: 本プログラムは継続しても良い
- 2: 本プログラムの継続には改善が必要
- 1: 本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	自学の国際交流プログラムをコンソ加盟校へ開放することで、プログラムの参加者の多様性の拡充に貢献している。引き続き、多くの日本人学生・留学生に国際交流の機会を提供し、グローバル社会で活躍する人材の育成に貢献することに加え、兵庫県全体の留学生の入学、就職を促進するようなプログラムの実施も期待する。
--------------------------------	---

2023年度 国際交流委員会 事業決算（案）

（単位：円）

		予算	決算	各プログラム 予算						委員会 予算					
				【取組1】			【取組2】								
				兵庫国際交流会館における 国際交流拠点推進事業 (JASSO受託事業)			加盟校の国際交流プログラムとの 連携促進事業			内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額
				内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額						
収入	会費収入	150,000	50,000					50,000				100,000	100,000		
	助成事業収入	0													
	受託事業収入	9,625,000	9,625,000	JASSO受託事業収入	9,625,000	9,625,000									
	プログラム収入	0													
	雑収入	0													
	戻入金	0													
	計	9,775,000	9,775,000		9,625,000	9,625,000		50,000				100,000	100,000		
支出	会議費	100,000	131,658	会議費	80,000	131,658					会議費	20,000			
	旅費交通費	140,000	84,132	旅費	100,000	62,240	旅費交通費	20,000	21,892	旅費交通費	20,000				
	通信運搬費	70,000	173,853	郵便、通信費	50,000	173,853					通信運搬費	20,000			
	消耗品費	50,000	273,765	消耗品費	50,000	273,765									
	新聞図書費	10,000	1,408	新聞図書費	10,000	1,408									
	印刷製本費	30,000	27,055			2,885	印刷製本費	30,000	24,170						
	光熱水料費		0												
	賃借料	40,000	200,222	賃借料	40,000	200,222									
	保険料		2,860	保険料		2,860									
	謝金	1,191,000	966,387	諸謝金	1,161,000	966,387					謝金	30,000			
	租税公課		0												
	支払手数料	22,000	26,895	振込手数料	22,000	26,895									
	諸会費		0												
	委託費	852,000	476,740	HP制作費・業務委託	852,000	476,740									
	人件費	7,260,000	7,306,087	コーディネーター	7,260,000	7,306,087									
	接待交際費		0												
	支払支援金		0												
	雑費	10,000	0								雑費	10,000			
計	9,775,000	9,671,062		9,625,000	9,625,000		50,000	46,062		100,000	0				

収入-支出	103,938
-------	---------